

事業者団体が抱える、これから

世田谷区介護サービスネットワーク「介護事業者団体」
副代表・あんくる(株)介護サービス 磯崎寿之



「コロナ禍の事業者運営と

事業者団体としての現状として」

感染状況の変化に一喜一憂し続ける
その中でほぼ3年弱の活動休止状態

昨年度後半からは情報交換以上の
事業者連携に力を置き、現場提供の
滞りを防ぐ努力を続ける

団体としても継続的な事業者支援を
見直し、これからの事業継続に
力を注ぐ

- BCP策定
- 運営管理者養成講座
- 制度改正対応など



介護ネットワークは平成14年、区との
話し合いにより始まる

訪問・通所・福祉用具連絡会を中心に
地域別部会も立ち上げ、広報渉外・災害対策委員
も合わせもち、区民のためのネットワークを目指す



想いと事業の継続性

区民のためのネットワーク化と社会福祉事業としての運営に取り組む

制度に翻弄され感染症にも立ち向かう

- 介護の現場を支え続けた事業者への理解不足
- 日々の在宅現場などへの理解不足
- 感染対策一つも自前で行ったコロナ初期
- 訪問しないが許されない状況化での激務など…
- 結果は



想いと事業の継続が出来ない

昨年度の介護事業経営概況調査でも、前年度よりさらに低下

収支率は3.0%で0.9%マイナス
通所デイは1.0%でマイナス2.8%
訪問介護は6.1%でマイナス0.8%
一部プラスあるもショートステイなど含め
その低下は著しい。



多くの離職者と事業の廃止

今に始まった事ではないが、年々過去最高という際立ったコロナ禍

行政支援など、あったにも関わらず
現況の維持・感染対策の徹底化
そもそも近親者からも疎まれるなど…職場の
保持すら厳しく、利用者の方の事情に左右
中小事業者が多くを支える業界構造も

生活支援(エッセンシャルワーク)=介護

今ある生活を続けたい、身体介護だけではない
その為のお手伝いを受ける事で
本人が望む**今までの・これからの生活**
共にある家族者などとの**協働**
多職種での連携による介護環境の**継続的な構築**



エッセンシャルワークの重要さ

日々ある生活をどう維持するのか
認知症状への対応など、分かりやすくなるものの
本当の理解にはまだ程遠いのが現状





事業としての継続性を考える

少子高齢社会の歪

高齢者・重度障害介護への偏見

魅力ある事業でないとの認識

実務の理解不足

障害に限らない社会福祉への誤解… 大きな社会課題

継続性を考える上で重要な事

大きな社会課題ではある理解不足と共に
介護職の現状は今のままでいいのか
さらなる資質の向上に向けた努力
ソーシャルワークを生活支援の中で培う

ではどう見直していったらいいのか

事業者自らの向上を通して事業の発展を目指す！
「介護事業所管理者向け講座」として
一年間の連続講座を始めました。



介護事業所管理者の 疑問・悩みを紐解く講座 2

介護事業所管理者のコンピテンシー

2023年3月

資料②

「コンピテンシー・マネジメントの展開」を基に作成
(ライル・スペンサー、シグネ・スペンサー)

介護事業所管理者のコンピテンシー Ⅰ-1

Ⅰ. マネジメント・コンピテンシー

具体的な効果を生み出すという意図が伴っています。他者を開発し、リードし、チームワークと協調を促すといった意図はマネジャーにとって特に重要です。

① チームワークと協調

他者と協調して働き、チームの一員となって他のメンバーと助け合うという純粋な意思が要求されます。



組織とは

2023年3月

「介護事業所管理者講座」

資料③

「原則と展望」 渥美俊一より



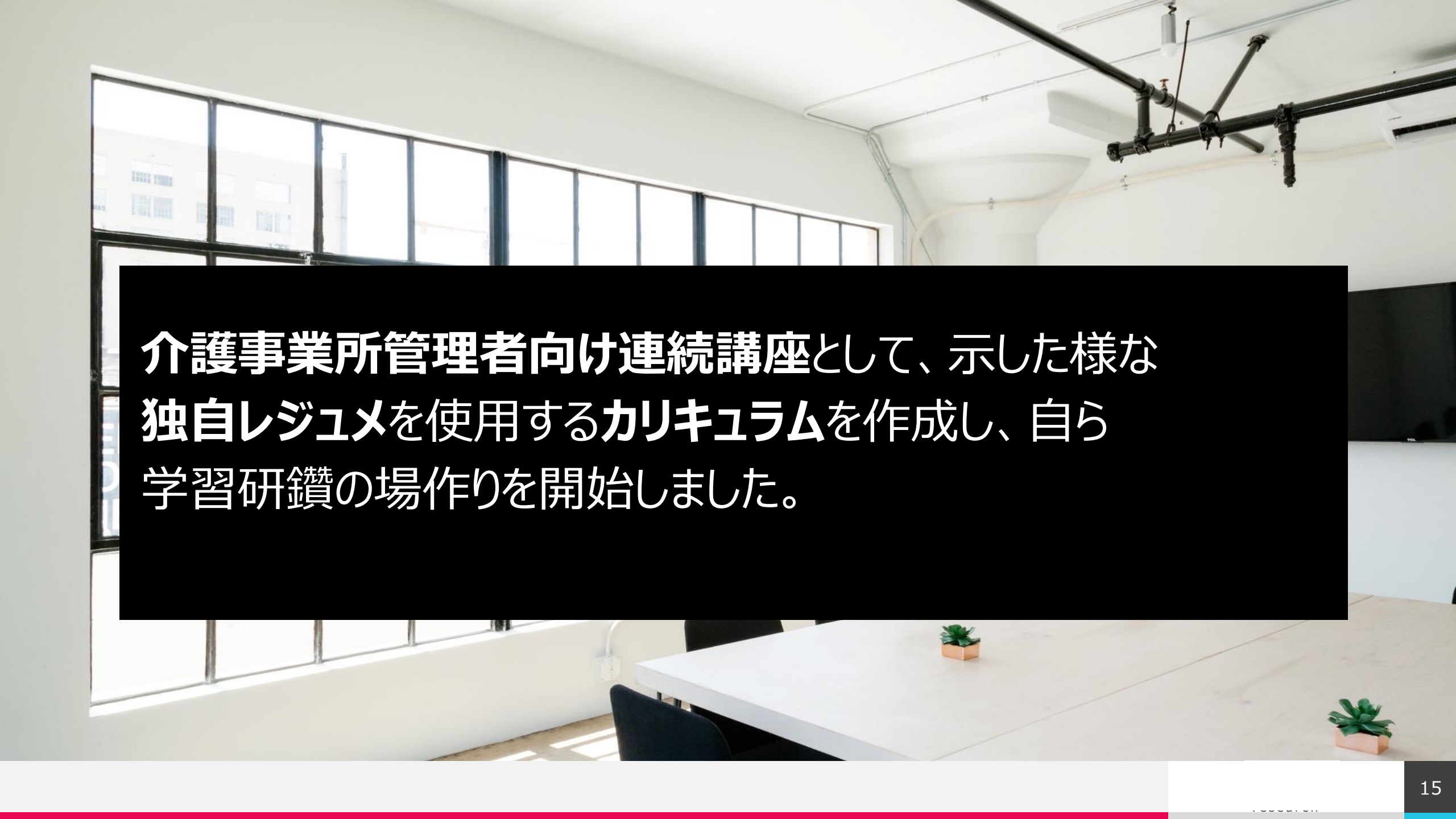
組織の課題

2023年3月

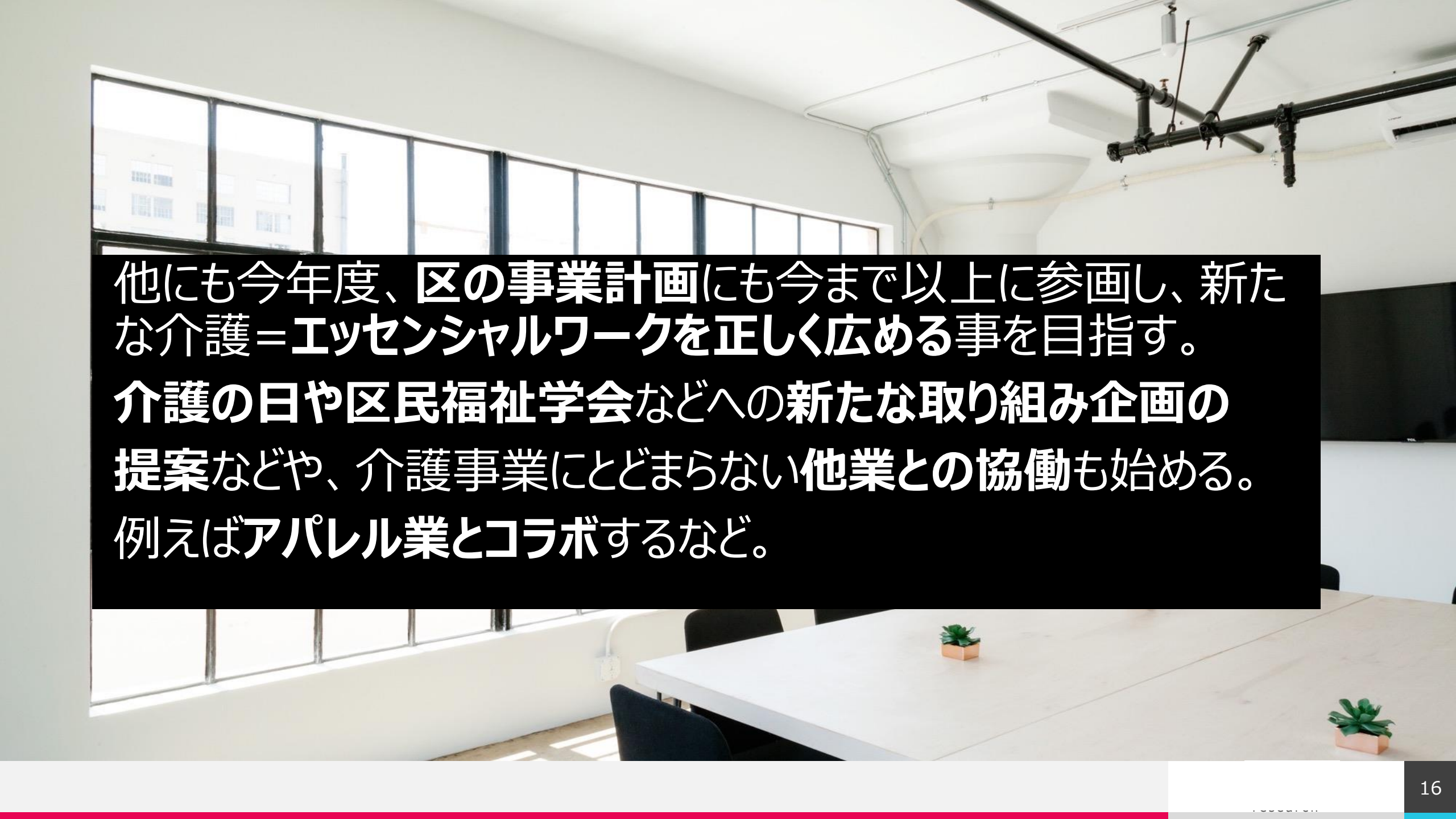
「介護事業所管理者講座」

資料④

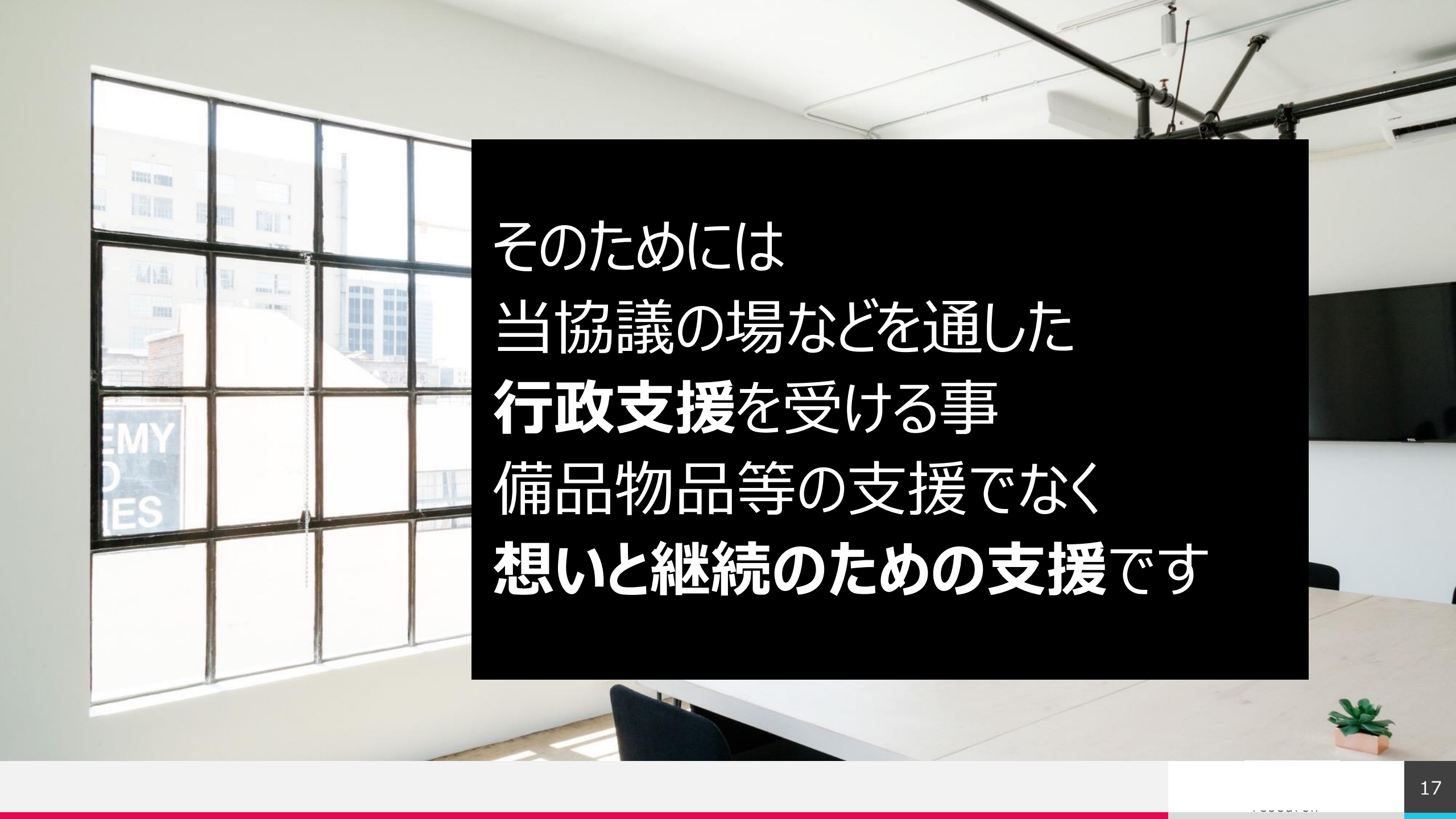
「ワーカーを育てるスーパービジョン」(中央法規)

A bright, modern meeting room with large windows and a white table. The room is clean and well-lit, with a white ceiling and walls. A large window on the left side provides a view of the outside. A white table is in the foreground, with two small potted plants on it. A black chair is visible in the foreground. The text is overlaid on a black rectangular background in the center of the image.

**介護事業所管理者向け連続講座として、示した様な
独自レジュメを使用するカリキュラムを作成し、自ら
学習研鑽の場作りを開始しました。**

A bright, modern meeting room with large windows and a long white table. The room is well-lit, and the ceiling has exposed pipes and a fan. The text is overlaid on a black background in the center of the image.

他にも今年度、区の事業計画にも今まで以上に参画し、新たな介護=エッセンシャルワークを正しく広める事を目指す。
介護の日や区民福祉学会などへの新たな取り組み企画の提案などや、介護事業にとどまらない他業との協働も始める。
例えばアパレル業とコラボするなど。



そのためには
当協議の場などを通じた
行政支援を受ける事
備品物品等の支援でなく
想いと継続のための支援です

ケアコミュニティデザイン 事業者としても地域コミュニティへの積極参加 地域包括に見合う諸活動



- ・サンタ電車世田谷線で経済困窮家庭支援
- ・ケアカフェ せたカフェの運営でまぜこぜの協働機会を
- ・世田谷区役所を青色にて障害児支援啓発デイ

団体としても雑居祭りへの参加など





コロナ後に向けた具体的活動
様々な**活動を本来の事業**から、検討し展開する
誰のためでもない**自らのこれから**を**世田谷から**すすめる
事業者と区民の連携、それを**支える行政**である事が
これからの世田谷

ですからこの場を通して**皆様のご支援**を
特に世田谷区には**予算や助成金、施策事業**への参加を**強く要望**します。
そのために**声を聞いて下さい！**

在宅の現場は中小の事業者が支えているのが実情、その声をまとめる
介護ネットワークの発言は社会福祉の健全化を図ります。



コロナ後に向けた具体的活動に絞り話しましたが
本来は**ケア現場の重要性が一番**です！

誰のためでもない**私たちのこれから**
事業者だからこそ出来る、それを支える行政とすすめるのが
これからの世田谷

**在宅の現場は中小の事業者が支えているのが実情、
世田谷区介護サービスネットワークの発言は
社会福祉の健全化を図ります。**



ありがとうございました

世田谷区介護サービスネットワーク

あんくる(株)介護サービス

磯崎寿之

コミュニティデザイン